

# JCI-TC-161A 鉄筋コンクリート造壁部材の曲げ終局強度算定法に関する研究委員会 第9回議事録

(記録：松井)

1. 日時：2017年11月10日（金）15:00～17:00

2. 場所：JCI第3会議室

3. 出席者：[以下、すべて敬称略、\_\_\_\_\_は欠席者]

加藤（主査）、秋山、岡本、河野、熊谷、新藤、津田、中村、萩尾、本多、松井、  
松崎、渡邊、

4. 提出資料：

- No.9-0 鉄筋コンクリート造壁部材の曲げ終局強度算定法に関する研究委員会第9回議事次第
- No.9-1 鉄筋コンクリート造壁部材の曲げ終局強度算定法に関する研究委員会第8回議事録
- No.9-2 まとめ方針 (加藤)
- No.9-3-1 JCI 研究報告書 執筆要領 (加藤)
- No.9-3-2 専門委員会発刊物の表紙デザインなどに関する取り決め (加藤)
- No.9-3-3 研究委員会報告会シンポジウム等開催ガイドライン (加藤)
- No.9-3-4 報告書に掲載する図表の転載許可について (加藤)
- No.9-4 無開口壁のFEM解析結果のまとめに関して (津田)
- No.9-5 有開口壁のFEM解析方針 (津田)
- No.9-6 FEM解析速報 (津田)
- No.9-7 基礎からの拘束を考慮した平面保持解析 (加藤)
- No.9-8 JCI論文：RC造連層有開口壁の設計法に関する考察[加藤] (加藤)
- No.9-9 JCI論文：曲げ変形が卓越する有開口RC造耐震壁の終局性能評価[河野] (加藤)

5. 議事内容：

## ① 前回議事録の確認【資料 No.9-1】

- ・議事録の確認がなされ、承認された。
- ・FEMデータ作成の外注については、最終的に資産にはならないと判断されることとなり、発注をすることができた。研究委員会の期間が終わったらデータを使用してはいけないので期間中に十分に利用しておく。

## ② 報告書作成方針等（加藤）【資料 No.9-2, 9-3】

- ・報告会の日程は、2018年9月28日（金）：第1希望、21日（金）：第2希望とする。
- ・報告会は独立採算となるため、会場は大学などを利用して安い方がよい。  
候補場所は、大井町のきゅりあん（12, 13万円程度）、田町の東工大キャンパスイノベーションセンター（100名程度の部屋、新潟大のオフィスがあるため無料かも）、早稲田大学（100名程度の部屋で、3000円/1時間）、東北大学東京分室（丸の内）（60名程度の部屋で1万円/1時間）
- ・報告書の最終原稿は、報告会の2週間前に提出  
校正原稿は1週間ほどで受け取れる。2, 3日で最終確認を行い、印刷に入る。  
ページふりは業者が行ってくれる。

- ・12月15日（金）の次回委員会で目次の確認。各担当委員は12月12日までに加藤主査に目次案を送付。
- ・3月下旬の委員会で報告書原案を提出し、内容の検討を行う。資料が多くなることが予想されるため、原稿はUSBでファイルを持参。プロジェクターを用いて確認を行う。短めにまとめた要約版などであれば印刷してもよいでしょう。
- ・執筆要領については、資料9-3-1を参照。
- ・報告書に掲載する図表等の掲載許可が必要なものがあれば、依頼書を作成しておく（資料9-3-4）。例えば各種学会の梗概などから図を転載する場合など。JCIの論文集などは不要。式や図などを自分で写し書いたり、描いたりしたものは、掲載許可は必要なく、参考文献を引用しておけばよい。
- ・4章は、面部材の内容で執筆の予定
- ・10章の開口の影響の評価については、8章に変更し、特に新しい評価法を提案ということではなく、FEM解析を用いて既往の評価の適用性の検証という内容でもよい。
- ・建築の壁部材の評価法の土木構造物への適用性なども検討してみる予定である。10章とする。

③ FEM解析による検討方針（津田）【資料 No.9-4, 9-5】

- ・有開口壁では開口が引張縁にある場合と圧縮縁にある場合と強度特性が異なっていることが実験で示されているので、解析的に挙動を把握していく。

④ 有開口壁のシミュレーション解析の速報（津田）【資料 No.9-6】

- ・荷重－変形関係の包絡線は概ね合っている。
- ・実験では、2層開口上部の位置でスリップ破壊のような損傷が見えるが、解析で捉えられるのか。今回示した解析結果では開口上部に圧壊が見られており、この後、水平方向に損傷が広がっていくかどうかだと思われる。今後、詳細に分析していく予定である。

⑤ 曲げ壁の性能評価について（加藤）【資料 No.9-7, 9-8, 9-9】

- ・(1)基礎からの拘束を考慮した平面保持解析による曲げ強度の検討、(2)マクロモデルを用いた壁部材の強度と変形能の評価法の検討、(3)離散ばねモデルによる有開口壁の解析について説明がなされた。

6. 次回予定

日 時： 12/15（金） 15:00-17:00

場 所：JCI 会議室

内容

- ・報告書目次の確認（各委員が担当の章、節、項の目次案を12月12日までに加藤主査に送付）

次々回については、3/26, 27, 28, 29,30 を候補日として日程調整

以上